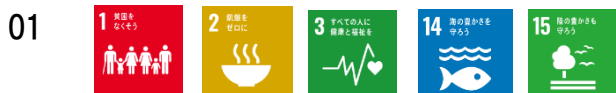




今年度のESDの重点目標（取組）

自分の想いを表現できる子供をめざして～ESDの日常的な取組の実践を通して～

【令和5年度 ESD 実践報告】



“1週間給食完食チャレンジ！！”

給食委員会の児童で、企画、実施をした。ポスターを描いて全校に知らせた。1週間毎日完食した児童には、委員会の児童たちが作成した折り紙をメッセージとともにプレゼントした。残菜への興味関心が高まった。



“SDGs なかよし集会” “SDGs でピカピカ大作戦集会” を運営委員会が主体で企画、実施した。

縦割りのなかよし班を活用した集会にした。17の目標の歌を全校に知らせ、集会で全校が一緒に歌って踊ることにより、自然と目標を身近に感じる事ができた。クイズに答えたり、SDGsの話の聞いたりして、下学年と上学年が互いに助け合って活動するあたたかい時間になった。



“主体的・対話的で深い学び”の視点からの授業改善の継続

お互いの授業を参観して教職員が一丸となって授業改善に取り組んでいます。

一例として、

2年生：生活科 “わたしの街はっけん”

自分の住んでいる町を探検し、住んでいる地域に愛着をもち、自分も構成員の一人であるという自覚が育った。

3年生：社会科 “農家の仕事”

八千代市で活動している梨農家さんの体験を通して、身近な人のすごさを知るとともに、八千代市の良さにも気づくことができた。

5年生：国語科 “町じまんをすいせんしよう”

自分が住んでいる町の良さや課題について調べることで課題を解決する取組に触れ、町の良さを改めて発見する事ができた。この町の良さを守ろうという気持ちが生まれ持続可能な町づくりへの意識を高める事ができた。

ひまわり：音楽科 “音にのせてとどけようハンドベル”

週に1回、練習に取り組んだ。一人一人が担当の音をもち、それらが重なりあうことで、素敵な音色を生み出すことができることを肌で感じ、貴重な時間となっている。